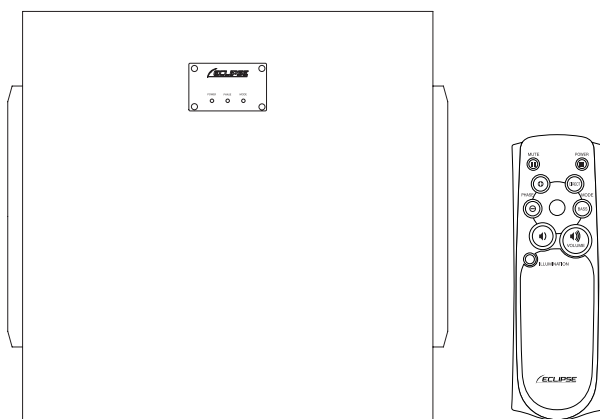




TD 725 SW

SUBWOOFER

取扱説明書



お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ご使用前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。

この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に、必ず保管してください。

FUJITSU TEN

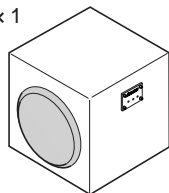
はじめに

目次

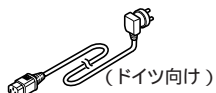
安全に正しくお使いいただくために	3
使用上のご注意	6
本機の設置について	6
各部の名称と働き	7
接続例.....	11
お手入れ / 仕様.....	13
保証とアフターサービス.....	14

付属品

サブウーファ × 1



電源コード × 1



リモコン × 1



リモコン用電池(単4) × 2



フット × 4



ロゴシール × 1



取扱説明書 × 1

保証書 (日本向けのみ)

アンケートハガキ (日本向けのみ)

*この商品は、タイムドメイン理論に基づくハイスピードでタイトな低音域を再生するために設計されたサブウーファシステムです。

《タイムドメイン理論とは》

タイムドメイン理論とは、音の波形が出てから消えるまでの、時間的な変化を正しく再現し、再生される音の波形を限りなく原音に忠実に近づけるために生まれた理論です。この理論によって時間領域(タイムドメイン)での再現性を向上させたタイムドメインオーディオシステムは、音の定位や演奏家が音楽に込めた繊細微妙な表現が、より忠実に再生できるようになりました。

安全に正しくお使いいただくために

ご使用の前に

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

本体に表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。

火災・感電・故障の原因となります。

この製品のキャビネットは、開けないでください。

感電やけがの原因となります。内部の点検・調整・修理は、当社窓口にご相談ください。

また、この製品を改造しないでください。

火災・感電の原因となります。

風呂場や雨にあたる所、湿気の多い所では使用しない。

火災・感電の原因となります。

この製品の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かないでください。

内部に水や異物が入った場合、火災・感電の原因となります。

付属以外の電源コードは使用しない。

付属以外の電源コードを使用すると、火災・事故の原因となります。

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、加工したり本機の下敷にしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

タコ足配線はしないでください。

発熱により、火災の原因となります。

電源コードが傷ついたときは（芯線の露出・断線など）交換ください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

万一、異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常な状態に気がついたときは、電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて点検を依頼してください。

異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

万一落したり、破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り（電源）プラグをコンセントから抜いて、それからご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

雷が鳴り出したときは、安全のため、早めに電源コードをコンセントから抜いてアンテナ線やプラグには触れないようにしてください。雷によっては、火災・感電・故障の原因となります。

 **注意**

差し込みプラグを抜くときは、コードを引っ張らないでください。
コードを引っばるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
濡れた手で差し込みプラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。
電源コードを熱器具に近づけないでください。
コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。
コンセントへの差し込みがゆるくぐらついたり、プラグやコードが熱いときは使用しないでください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。
電源プラグは、根元まで差し込んでもちるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。電気工事にコンセントの交換を依頼してください。
電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所又は、高所に置かないでください。
落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。
調理台や加湿機のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。
火災・事故の原因となることがあります。
冷気が直接吹きつける所へは置かないでください。
露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。
直射日光が長時間あたる場所や、暖房器具の近くには置かないでください。
キャビネットが変形・変色したり、火災の原因となることがあります。
極端に寒い場所に置かないでください。
故障や事故の原因となることがあります。
火気の近くに置かないでください。
故障や事故の原因となることがあります。
踏み台や腰掛けの代わりに使用するなど、製品の上に乗らないでください。
倒れたりこわれたりして、けがの原因となることがあります。
特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。
リモコンは小型で軽量なため取り扱いには注意してください。落としたりぶつかけたりすると、破損したり、電池の消耗を早めたり、誤操作の原因になります。
リモコンは湿気、ほこりを避け、ショックを加えたり、水などをかけたりしないでください。
チューナー等に雑音が生じる場合は、この製品と離して設置してください。
フローリングに設置する時は、付属のフットを貼付けて設置して下さい。
移動させるときは、必ず接続されている機器の電源を切り、電源コード、各機器の接続コード、スピーカーコード等を抜いた後、行ってください。
コードを接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
この製品は、重いので開梱や持ち運びは必ず2人以上で行ってください。けがの原因となることがあります。
また、この製品は、構造上鋭角な部分がありますので、市販のコーナガードなどで安全性を高めるなど取扱いには充分ご注意ください。

注意

お手入れのときは、安全のため、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

感電やけがの原因となることがあります。

旅行などで長期間この製品をご使用にならないときは、安全のため、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

火災の原因となることがあります。

TVや他のオーディオ機器を接続する場合は、必ず電源を切り、各機器の取扱説明書をよく読み、説明にしたがって接続してください。

電源を入れる前には、アンプ・サブウーファの音量を必ず最小にしてください。

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

大音量で再生中に万一異音が出た場合は、音量レベルを下げてください。

そのまま使用または、長時間音が歪んだ状態で使用すると、スピーカが発熱し、火災の原因となることがあります。

使用上のご注意

電源を入れる前、または入力切換を行う前には、必ず音量を最小にしてください。突然の大出力により、接続されたスピーカシステムを破損させる原因となります。

楽しい音楽も場所によっては気になるものです。ご近所のご迷惑にならないよう、適度な音量でお楽しみください。

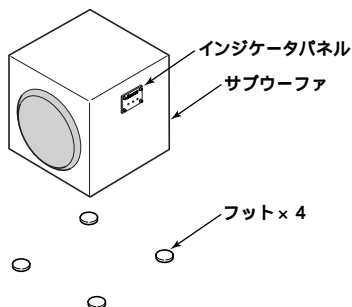
特に、夜間などは小さな音量でも周囲にはよく通るものです。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

スピーカは、必ずすべての機器の電源を切った状態で接続してください。

本機の汚れは、中性洗剤を柔らかい布に含ませて軽く拭いてください。シンナー、ベンジンなどは使わないでください。

本機の設置について

フットの取り付け方

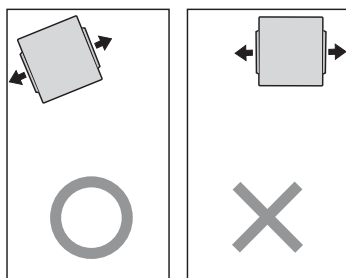


フローリングなどに設置する場合は、サブウーファ底面にフットを取り付けてください。

注意

スピーカや床等を傷つけないようにやわらかい布等を敷いた上で作業を行ってください。

本機の置き方



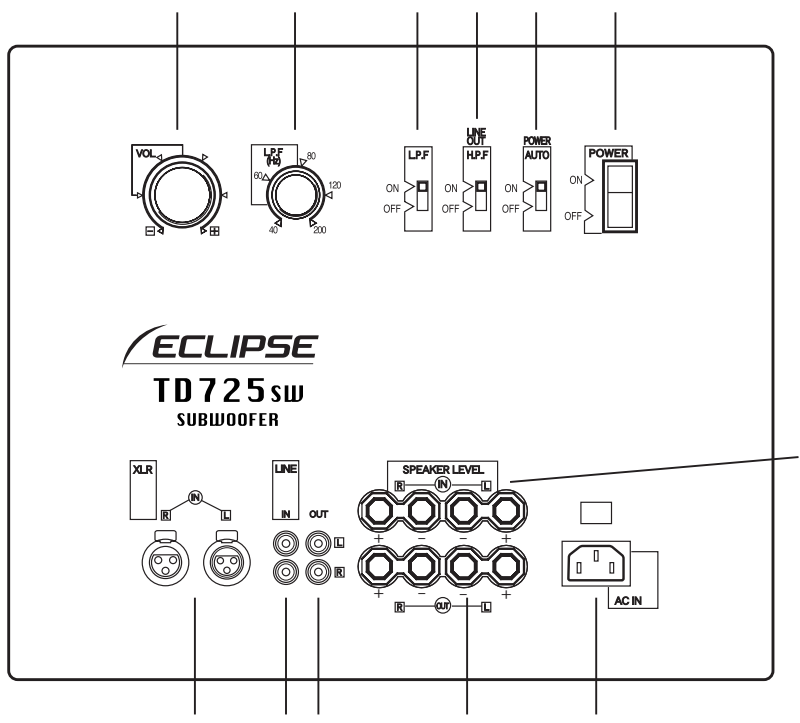
- ・リモコン受光部がある、本体インジケータパネルを視聴位置の方向に向けて設置して下さい。
- ・部屋の平行面に向けると、壁からの反射音等により打消しが生じることがありますので、平行面に対して角度をつけて設置する事をおすすめします。

アドバイス

リモコン受光部に直射日光など強い光があたる場所に設置しないでください。リモコン操作を受けつけなかったり、誤動作する恐れがあります。

各部の名称と働き

本体



音量調整つまみ

音量を調整するつまみです。

L.P.F.調整つまみ

高域の周波数を調整（カット）するつまみです。
調整可能範囲は40Hz～200Hzです。

L.P.F.切替えスイッチ

L.P.F調整機能を「入」、「切」するスイッチです。

条件	メディア例	推奨L.P.F.状態
TD725SWで再生帯域を調整する場合	CDなど	ON
プレーヤやアンプで再生帯域を調整する場合	DVDなどのマルチチャンネル信号	OFF

ただし、上記の例は代表的な場合ですので、お好みに応じて切り替えてご使用下さい。

H.P.F.切替えスイッチ

のライン出力から L.P.F.調整つまみで調整されたカットオフ周波数以上の信号を出力したい場合に「入」、「切」するスイッチです。

ONの場合、L.P.F. 調整つまみで設定されたカットオフ周波数以上の信号を出力します。OFFの場合、スルーの信号を出力します。

オートパワースイッチ

オートパワー機能を「入」、「切」するスイッチです。

オートパワースイッチをONにするとオートパワー機能ははたらき「入力信号がない状態が5分続くと本機はスタンバイ状態」になります。(「POWER」インジケータが青色から赤色に切り替わります。)

再び入力信号を受けると自動的に電源が入ります。(「POWER」インジケータが赤色から青色に切り替わります。)

きわめて小音量で使用される場合は、誤作動防止のため本スイッチをOFFにしてください。

電源スイッチ

主電源を「入」、「切」するスイッチです。

XLR入力端子

AVアンプなどのサブウーファ(スーパーウーファ)出力端子、またはアンプライン出力端子がXLRコネクタの場合に、信号を入力する端子です。

ライン入力端子

AVアンプなどのサブウーファ(スーパーウーファ)出力端子またはアンプのライン出力端子などから信号を入力する端子です。

ライン出力端子

、 の入力端子へ入力された信号をライン出力レベルに変換して出力します。(本機の音量調整つまみとは連動していません。)

スピーカ入力端子

アンプのスピーカ出力の信号を入力する端子です。

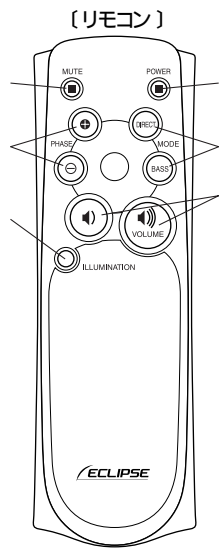
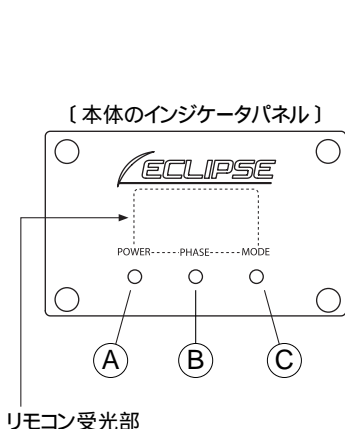
スピーカ出力端子

のスピーカ入力端子へ入力された信号をそのまま出力する端子です。

電源入力端子

付属の電源コードを使用して「家庭のAC電源コンセント」に接続する端子です。

リモコン



POWERボタン

ボタンを押すと、電源ON/スタンバイの切替えが出来ます。
 (Ⓐ 「POWER」インジケータは電源が入った時には青色に、スタンバイ状態の時には赤色に点灯します。)

MUTEボタン

ボタンを押すと、消音/再生の切替えが出来ます。瞬時に消音したり、元に戻したりします。(消音時は、Ⓐ「POWER」インジケータ赤色が点滅します。)

MODEボタン

[BASS] ボタンを押すと低音が強調されます。
 (Ⓞ [MODE] インジケータ白色が消灯します)
 [DIRECT] ボタンを押すとBASS効果を解除します。(Ⓞ [MODE] インジケータ白色が点灯します)

PHASEボタン

[⊕] ボタンを押すと正相の音が出ます。
 (Ⓑ [PHASE] インジケータ橙色が消灯します。)
 [⊖] ボタンを押すと逆相の音が出ます。
 (Ⓑ [PHASE] インジケータ橙色が点灯します。)

VOLボタン

[🔊] ボタンを押すと音量が上がります。
 (Ⓐ 「POWER」インジケータは音量が上がると点滅が早くなります。最大音量になってもボタンを押し続けると2秒後にインジケータの点滅が終わり点灯します。)
 [🔊] ボタンを押すと音量が下がります。
 (Ⓐ 「POWER」インジケータは音量が下がると点滅がおそくなります。最小音量になってもボタンを押し続けると2秒後にインジケータの点滅が終わり点灯します。)

ILLUMINATIONボタン

ボタンを押すごとに、各インジケータの明るさが2段階に切替ります。

アドバイス

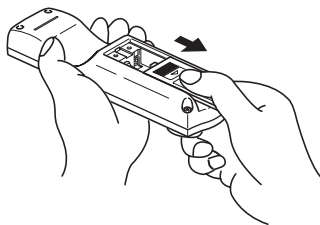
各設定は、主電源をOFFにしても記憶されています。
 工場出荷時の設定(インジケータ状態)は、右記のとおりとなります。

POWER	ON	青/点灯
PHASE	正相	橙/消灯
MODE	BASS	白/消灯

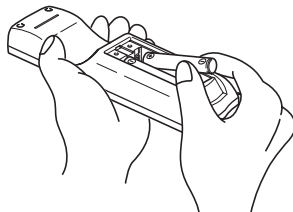
リモコンの電池交換について

電池は、単4形（マンガン電池）を2個ご使用ください。

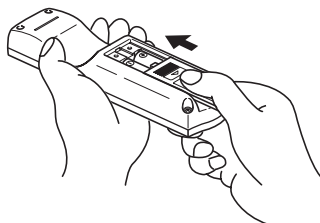
リモコンの裏ボタンを押しながら矢印の方向に開きます



電池2個をそれぞれ電池収納部の表示どおりにセットする



裏ボタンを矢印の方向に押しして電池ケースを閉める



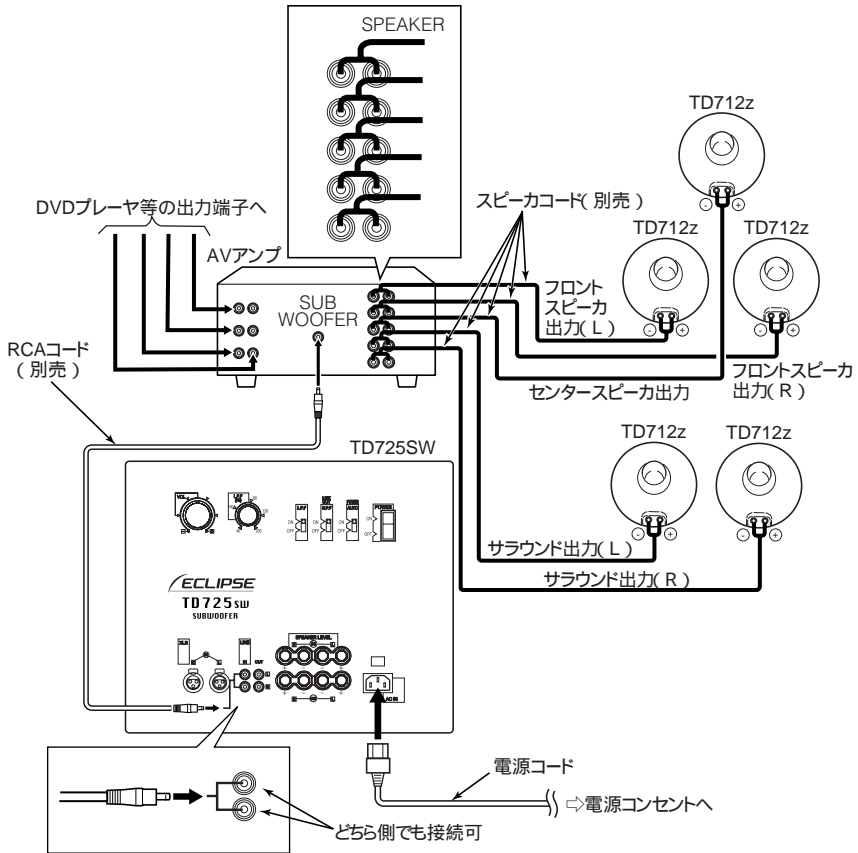
⚠ 注意

- 電池の寿命は約1年間です。リモコンの効が悪くなった場合は、電池の寿命が考えられますので新しい電池と交換してください。
- 電池の+と-を間違わないよう注意してください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 万一、電池の液もれがおこったときは、電池収納部についた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。

接続例

〔5.1chシステム例〕

プレーヤー + AVアンプ + TD712z + TD725SW



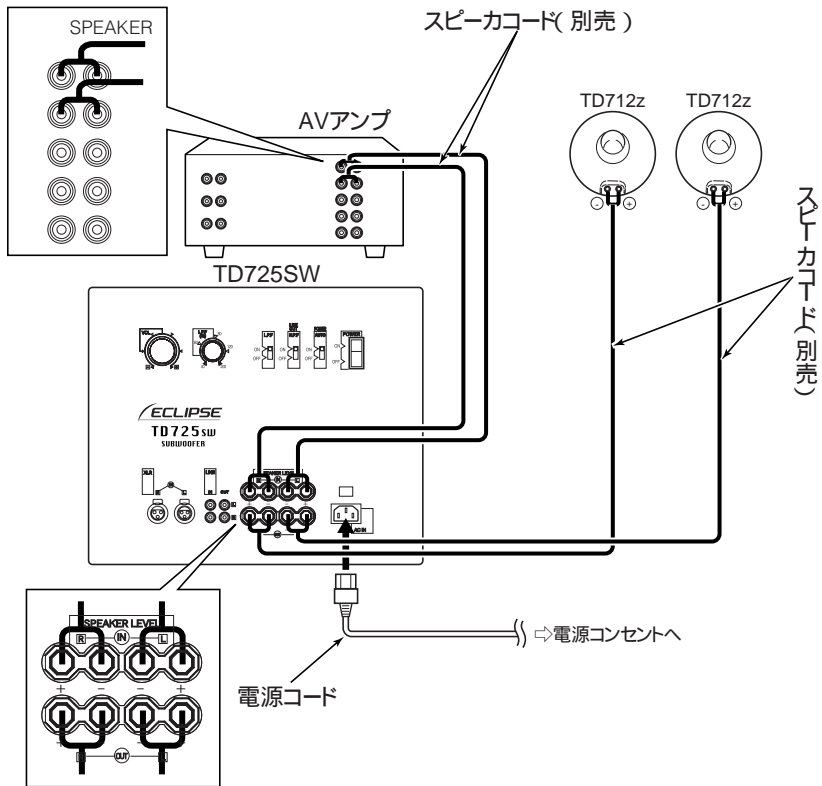
別売のコードはお近くの販売店でご購入ください。

AVアンプのサブウーファ出力が1chしかない場合は、どちらか片方のラインイン端子に接続してください。または、分岐コード(別売)を使い両方のラインイン端子に接続してください。

【2.1chシステム例】

プレーヤ+アンプ+TD725SW+TD712z

・スピーカコード接続



お手入れ / 仕様

お手入れ

お手入れする前には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

この製品の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。

汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼって拭き取り、乾いた布で仕上げてください。

この製品を、ベンジンやシンナー系の液体で拭かないでください。

キャビネット表面を傷める原因となります。



動作に異常が起きたとき

この製品を使用中に、強い外来ノイズ（過大な衝撃、静電気、落雷による電源電圧の異常等）を受けた場合、または誤った操作をした場合に、正しい動作をしなくなるなどの現象が発生することがあります。

そのようなときは、POWER（電源）ボタンを一度、「切」にしてください。

再び電源を入れ、正常な動作に戻ることを確認してください。

（引き続き異常が発生する場合は、当社窓口へご連絡ください。）

仕様

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

定格出力	: 500W (T.H.D:1%時)
全高調波歪率	: 0.05%(50Hz、1/2定格出力時)
再生周波数特性	: 20Hz ~ 200Hz (BASS MODE, L. P. F. 200Hz)
入力感度	: 40mVrms(50Hz)
信号対雑音比	: 95dB以上
入力インピーダンス	: 10k
外形寸法	: W517 × H473 × D503 (mm) (突起部含む) : W473 × H473 × D473 (mm) (ボックス外形)
入力電圧	: 100V (日本) 120V (米国) 230V (欧州)
消費電力	: 65W
口径	: Φ 25cm × 2
質量	: 約42.5kg

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

保証期間

お買いあげの日から1年間です。

保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の最低保有期間

この商品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

この期間は、通商産業省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理及びご不明な点に関するご相談は

下記「富士通テン株式会社 ECLIPSE TDインフォメーション」にお問い合わせください。

富士通テン株式会社
ECLIPSE TDインフォメーション

フリーダイヤル：0120-02-7755

受付時間：午前10:00～12:00、

午後1:00～5:00

（土・日・祝祭日・弊社休業日を除く）

電子メールアドレス：TD-info@tm.ten.fujitsu.com

修理を依頼されるときは

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

長年ご使用のオーディオ機器の点検を！

愛情点検



このような
症状は
ありませんか？

電源コードやプラグが異常に熱い
コゲくさい臭いがする
電源コードに深いキズや変形がある
その他の異常や故障がある



ご使用中止

故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、必ず点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は、当社窓口にご相談ください。